**脆性遷移温度**

**鉄などの金属は、ある温度以下になると粘り強さが低くなる性質があり、この性質が変わる温度**を「脆性遷移温度」といいます。 脆性遷移温度を調べることで粘り強さの変化を確認できるものであり、原子炉容器が割れる温度ではありません。 原子炉容器は、炉心から中性子を受けることにより中性子照射脆化（注）が進むことが知られています。

九州電力：照射脆化をわかりやすく説明しています

[原子炉容器の照射脆化に対する健全性について（注）（3,508KB）](https://www.kyuden.co.jp/var/rev0/0583/2368/nuclear_irradiation2209.pdf)